

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年11月11日

上場会社名 株式会社アドバネクス 上場取引所 東
 コード番号 5998 URL <https://www.advanex.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 精也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役最高財務責任者(氏名) 吉原 哲也 (TEL) 03-3822-5865
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	10,769	28.0	171	—	228	—	25	—
2021年3月期第2四半期	8,416	△19.6	△296	—	△266	—	△422	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 △64百万円(—%) 2021年3月期第2四半期 △380百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	6.22	6.21
2021年3月期第2四半期	△103.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	24,074	6,207	25.7
2021年3月期	23,730	6,323	26.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 6,198百万円 2021年3月期 6,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	4.9	300	70.3	200	△44.3	100	△84.2	24.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	4,153,370株	2021年3月期	4,153,370株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	44,708株	2021年3月期	55,446株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	4,102,543株	2021年3月期2Q	4,092,424株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米主要国や中国ではワクチン接種の進展により経済活動を再開しましたが、アセアン諸国や新興国ではワクチン接種が進まず経済活動再開に遅れが生じており、先進国でも一部地域においては変異株による感染再拡大があるなど先行きの不透明感は強まっています。加えて、当社の主要市場である自動車業界は、需要こそ旺盛であるもののアセアンからの自動車部品供給の遅れや、世界的な半導体や樹脂材等原材料の不足により生産計画が見直され、当社業績にも少なからず影響がありました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比28.0%増の107億69百万円となり、営業利益は1億71百万円（前年同四半期は2億96百万円の損失）、経常利益は2億28百万円（前年同四半期は2億66百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25百万円（前年同四半期は4億22百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 日本

自動車、OA機器向けをはじめ全般的に需要が回復し、売上高は前年同四半期比21.6%増の42億69百万円、セグメント利益は2億36百万円（前年同四半期は1億81百万円の損失）となりました。

② 米州

自動車、医療向けの需要が回復し、売上高は前年同四半期比48.5%増の13億62百万円となりましたが、米国工場移転に伴う費用の計上や、メキシコ工場におけるプロジェクト立上げコストの発生などによりセグメント損失は3億40百万円（前年同四半期は1億63百万円の損失）となりました。

③ 欧州

医療向けや規格品が好調だったことから、売上高は前年同四半期比10.6%増の10億28百万円となりましたが、セグメント利益は同22.0%減の54百万円となりました。

④ アジア

自動車向けを中心に需要が回復し、売上高は前年同四半期比34.3%増の41億8百万円、セグメント利益は2億21百万円（前年同四半期は37百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億43百万円増加し、240億74百万円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が63百万円増加し、122億6百万円となりました。主な理由は、現金及び預金が4億93百万円、受取手形及び売掛金が93百万円減少しましたが、棚卸資産が6億29百万円増加したことによるものであります。また、固定資産合計額は2億80百万円増加し、118億67百万円となりました。主に、有形固定資産及び投資その他の資産の増加によるものであります。

(負債)

負債の部においては、負債合計額は178億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億60百万円増加しました。主な理由は、支払手形及び買掛金が1億96百万円減少しましたが、借入金が7億35百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部においては、純資産合計額が62億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億16百万円減少しました。主な理由は、為替換算調整勘定が91百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は25.7%（前連結会計年度末は26.5%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億30百万円減少し、25億62百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金が1億3百万円増加(前年同四半期は4億15百万円の資金増加)しました。

主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益による資金増加が1億90百万円及び減価償却費による資金留保6億18百万円によるものです。主な支出要因は、棚卸資産の増加による資金減少が6億17百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金が12億31百万円減少(前年同四半期は2億45百万円の資金減少)しました。

主な支出要因は、当社及びグループ会社における設備投資10億75百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金が5億86百万円増加(前年同四半期は3億57百万円の資金減少)しました。

主な収入要因は、有利子負債の増加7億15百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,899,489	3,405,546
受取手形及び売掛金	4,720,132	4,627,105
商品及び製品	1,250,147	1,560,667
仕掛品	697,541	755,323
原材料及び貯蔵品	937,769	1,199,107
その他	683,091	697,421
貸倒引当金	△44,512	△38,368
流動資産合計	12,143,659	12,206,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,851,288	3,769,015
機械装置及び運搬具(純額)	3,709,048	3,758,943
土地	997,270	1,002,493
その他(純額)	2,301,640	2,522,862
有形固定資産合計	10,859,246	11,053,314
無形固定資産	62,311	76,069
投資その他の資産	665,601	738,547
固定資産合計	11,587,159	11,867,930
資産合計	23,730,818	24,074,736
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,287,463	3,091,040
短期借入金	1,868,510	2,245,330
1年内返済予定の長期借入金	2,905,859	3,160,955
リース債務	168,697	174,471
未払法人税等	193,134	187,610
賞与引当金	151,075	172,204
製品保証引当金	77,637	76,719
その他	1,318,307	1,192,193
流動負債合計	9,970,684	10,300,525
固定負債		
長期借入金	4,963,115	5,066,371
リース債務	933,352	974,394
繰延税金負債	254,450	272,721
資産除去債務	52,275	51,626
退職給付に係る負債	1,207,178	1,177,451
その他	26,394	24,360
固定負債合計	7,436,767	7,566,926
負債合計	17,407,451	17,867,452

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	250,000	250,000
利益剰余金	5,201,273	5,172,008
自己株式	△96,212	△77,477
株主資本合計	6,355,060	6,344,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,091	△643
為替換算調整勘定	△85,504	△177,185
退職給付に係る調整累計額	24,483	31,989
その他の包括利益累計額合計	△55,929	△145,840
新株予約権	24,235	8,594
純資産合計	6,323,366	6,207,284
負債純資産合計	23,730,818	24,074,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	8,416,270	10,769,665
売上原価	6,681,204	8,370,280
売上総利益	1,735,066	2,399,384
販売費及び一般管理費	2,032,014	2,227,966
営業利益又は営業損失(△)	△296,948	171,418
営業外収益		
受取利息	11,235	9,686
受取配当金	2	1
受取賃貸料	31,505	36,331
為替差益	27,618	134,522
補助金収入	42,947	1,435
その他	38,560	16,292
営業外収益合計	151,869	198,268
営業外費用		
支払利息	89,624	108,989
その他	32,038	32,031
営業外費用合計	121,662	141,021
経常利益又は経常損失(△)	△266,742	228,666
特別利益		
固定資産売却益	1,495	1,208
特別利益合計	1,495	1,208
特別損失		
固定資産売却損	354	176
固定資産処分損	626	8,133
訴訟関連損失	24,287	31,026
新型コロナウイルス感染症関連損失	39,179	—
特別損失合計	64,448	39,336
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△329,695	190,538
法人税、住民税及び事業税	91,398	155,466
法人税等調整額	1,103	9,552
法人税等合計	92,502	165,019
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△422,197	25,519
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△422,197	25,519

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△422,197	25,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	325	△5,735
為替換算調整勘定	23,504	△91,681
退職給付に係る調整額	18,353	7,505
その他の包括利益合計	42,184	△89,910
四半期包括利益	△380,013	△64,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△380,013	△64,391

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△329,695	190,538
減価償却費	605,278	618,905
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,540	△9,846
賞与引当金の増減額(△は減少)	△71,880	22,087
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,100	△19,516
受取利息及び受取配当金	△11,237	△9,687
支払利息	89,624	108,989
為替差損益(△は益)	24,684	△105,048
固定資産売却損益(△は益)	△1,140	△1,032
固定資産処分損益(△は益)	626	8,133
売上債権の増減額(△は増加)	373,027	103,993
棚卸資産の増減額(△は増加)	23,579	△617,489
仕入債務の増減額(△は減少)	△442,667	258,591
その他	332,395	△236,258
小計	604,235	312,361
利息及び配当金の受取額	35,946	8,240
利息の支払額	△106,493	△63,487
法人税等の支払額	△118,164	△153,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	415,524	103,533
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△378,671	△1,075,515
有形固定資産の売却による収入	3,977	2,068
無形固定資産の取得による支出	△1,162	△21,973
無形固定資産の売却による収入	597	331
投資有価証券の取得による支出	△900	△73,285
定期預金の預入による支出	△147,657	△255,600
定期預金の払戻による収入	271,447	213,646
その他	6,550	△20,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245,818	△1,231,190
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△67,194	368,920
長期借入れによる収入	1,340,926	1,900,000
長期借入金の返済による支出	△1,547,811	△1,553,656
自己株式の増減額(△は増加)	△186	△347
配当金の支払額	△42,176	△42,211
その他	△40,965	△85,882
財務活動によるキャッシュ・フロー	△357,407	586,822
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,659	9,853
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△204,361	△530,980
現金及び現金同等物の期首残高	1,971,289	3,093,069
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,766,928	2,562,089

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、収益は顧客との契約において約束された対価から、値引き、リベート及び返品などを控除した金額で測定しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益及び利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,510,327	917,553	930,129	3,058,258	8,416,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	269,228	509	50,785	124,279	444,803
計	3,779,556	918,063	980,915	3,182,538	8,861,073
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△181,383	△163,698	69,516	△37,298	△312,863

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△312,863
セグメント間取引消去	15,914
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△296,948

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,269,617	1,362,537	1,028,789	4,108,720	10,769,665
セグメント間の内部売上高 又は振替高	482,583	6,059	13,252	61,715	563,611
計	4,752,200	1,368,597	1,042,042	4,170,435	11,333,276
セグメント利益又は セグメント損失(△)	236,980	△340,344	54,204	221,769	172,610

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	172,610
セグメント間取引消去	△1,191
四半期連結損益計算書の営業利益	171,418

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間に係る各数値に与える影響は軽微であります。